

# 財務戦略

## 持続可能な成長基盤の構築と企業価値向上を目指して

### 資本政策

KOITOは、資本コストなどを意識した経営により、中長期的かつ持続可能な成長基盤の構築と、企業価値向上を目指しています。

財務指標としては、売上高よりも営業利益や経常利益などを重視し、収益体質の強化に努めています。自己資本利益率(ROE)などの目標値は設定していませんが、世界自動車生産台数が堅調に推移していた2017~2018年度には連結営業利益率11~12%台を達成しており、こうした水準を目指して取り組んでいます。

足元の経営環境は、新型コロナウイルスや半導体不足の影響などにより厳しい状況ではありますが、まずは10%の営業利益率を確保し、今後の世界的な自動車生産台数の回復に伴い、更に高い営業利益率を達成できるよう、収益改善を図っています。



■ 連結業績 (百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	826,257	800,928	706,376	760,719
営業利益	101,534	82,411	56,707	53,434
営業利益率	12.3%	10.3%	8.0%	7.0%
経常利益	105,494	85,264	61,107	60,613
親会社株主に帰属する当期純利益	72,895	58,022	37,612	38,340
総資産	738,175	729,715	782,163	855,237
現金及び預金	287,803	271,774	303,887	323,943
純資産	503,564	513,524	569,438	627,315
自己資本利益率(ROE)	16.7%	12.3%	7.4%	6.8%

■ 単独業績 (百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	364,104	356,505	312,201	294,463
営業利益	38,346	25,574	21,138	17,760
営業利益率	10.5%	7.2%	6.8%	6.0%
経常利益	56,652	46,713	38,185	38,416
当期純利益	44,132	41,644	38,048	23,253
総資産	419,791	430,006	469,849	475,170
現金及び預金	188,097	178,200	194,086	203,659
純資産	303,560	324,311	365,178	379,654
自己資本利益率(ROE)	15.2%	13.3%	11.0%	6.2%

### 株主還元の方針

KOITOは、中長期的な株主還元や企業価値の向上を目指し、将来のKOITOグループの成長に資する設備投資や研究開発投資、戦略的なM&A投資等に資金を充てるべきだと考えています。また、当社株主構成では、特に中長期にわたって株式を保有する投資スタイルの株主比率が国内外において高まっており、5~7年間といった中長期的なトータルリターン向上を期待されています。今後も、受注増加に対応した設備投資やADB・センサ関連などへの研究開発投資を実施していきたいと考えています。

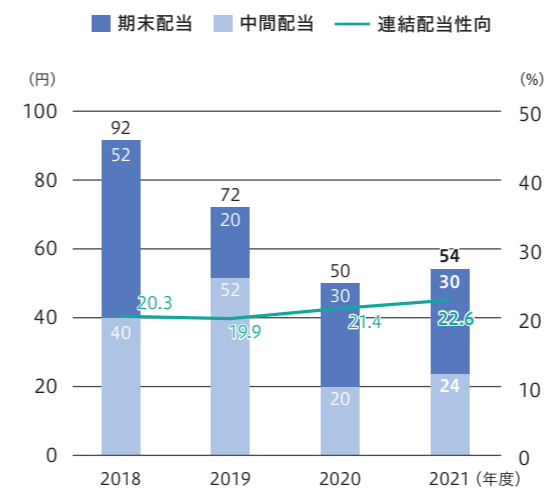
2021年度の主な次世代技術への投資としては、LiDAR開発などを協業にて行ってきたセプトン社へ従来からの50百万ドルに加えて、50百万ドルの追加出資を実施しました。

KOITOグループの中長期的な成長に資する技術を有する企業などに対しては、今後も積極的な投資を行ってまいります。

配当については、安定的かつ継続的な配当を行うという基本方針のもと、配当性向30%を目安に、業績や経営環境等を総合的に勘案しています。

足下では新型コロナウイルスや半導体不足などの問題があり、経営環境は依然として先行き不透明な状況であるものの、中長期的には配当性向30%を意識しつつ、業績や経営環境を考慮し、着実な改善に取り組んでまいります。

■ 配当の推移



(百万円)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
当期純利益(連結)	72,895	58,022	37,612	38,340
1株当たり当期純利益	453.52円	360.99円	234.00円	238.53円
配当金総額	14,787	11,572	8,036	8,679
1株当たり配当金	92円	72円	50円	54円
中間配当	40円	52円	20円	24円
期末配当	52円	20円	30円	30円
連結配当性向	20.3%	19.9%	21.4%	22.6%

### KOITOグループの中長期的な成長に向けて

KOITOグループの中長期的な成長に向けては、CASE(コネクティッド・自動運転・シェアリング・電動化)に対応するLiDARやカメラ等センサの先進技術開発に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)やカーボンニュートラルへの取り組みを加速させる必要があります。

特に、先進技術開発においては、自動運転や次世代モビリティ、AI・IoT等の分野で、他社との連携・協業も重要であると考えています。米国のシリコンバレー研究ラボや、イスラエルのファンド等を通じ、センサのみならず、スマート街路灯や信号機などに関連する新技術の探索をグローバルに行っています。収集した情報を精査・審議し、KOITOグループの成長に資する良い技術・案件があれば、M&Aを含め積極的に協業・提携を検討していきたいと考えております。

今後も、創出した資金を活用し、不透明な経営環境においても企業価値を向上し続けられる成長基盤を構築、中長期的かつ持続可能な成長を実現してまいります。

